

市民の切実なくらしの声、願いにこたえ、

福祉・環境をまもり、市民に開かれた清潔・公正、

## あたたかい福山市政をつくるために

真に「活力ある」福山市への再生は、市民ひとりひとりが大事にされる市政でこそ

2004年8月13日 日本共産党東部地区委員長 寺田あきみつ

4期13年にわたる三好市長が辞任しました。

三好市政は、ムダな大型開発に熱中し、暴力団がらみの土建業者が公共事業を食い物にすることを長年にわたって許してきました。北部産業団地の開発には90億円、付帯工事に44億円を投じましたが、分譲率は49・5%で、いまだ半分以上が売れ残っています。国も県も終結した同和行政に、引き続き多額の税金を投入し、今年度の予算は6億7000万円です。

国・県が大企業への新たな産業提供として推進している「びんごエコタウン構想」に基づくごみのRDF化・RDF発電事業を推し進めましたが、両施設ともに本格稼動直後にトラブル続き。一般家庭ごみ処理コストは年間13億円増高しました。破たんした「そごう」跡を市民の税金で買い上げるなど、大企業には糸目をつけない大盤振る舞いを行ってきました。

国県言いなりの市町村合併を推し進め、既に内海町、新市町を編入合併しましたが、財政は一気に悪化し、内海町や新市町のきめ細かな住民サービスは低下しています。現在沼隈町と、神辺町との合併も推進しています。

福山道路等の建設計画や鞆港埋立て架橋計画も、無駄な大型公共工事として、住民の反対運動が広がっています。また、新たな大型開発として、駅前再開発（東桜町伏見町）を民間企業を事業代行者として押しすすめようとしています。この事業は、総工費約520億円。福山駅前に地上23階、40階のマンションを中心とした超高層ビルを建設しようとするもので、新たな景観・まち壊しとなるものです。

このような市政の推進で、この10年間で、市の借金（一般会計）は1・8倍に膨れ上がり、総額1529億5645万円余（2002年度末）、市民一人あたり37万5000円となっています。その失政の付回しを市民にかぶせ、国保税や介護保険料、保育料などの市民負担は耐えがたいものとなっています。

さらに、高等学校授業料の値上げ、乳幼児医療費無料制度への一部負担金の導入、老人医療費助成制度の廃止（5年間かけて廃止）など、新たな福祉削り・住民犠牲をすすめています。

このたびの三好市長の辞任に伴う市長選挙は、市民犠牲の市政を断ち切り、今こそ真に市民が主人公の市政実現のまたとないチャンスです。

首長が変われば、自治体が変わります。

狛江3期目の市政継続や、兵庫県出石町で日本共産党員町長の誕生など、いま全国で、くらし・福祉を守る自治体本来の姿を取り戻そうという新しい流れが広がっています。

日本共産党と「市政を変えたい」と願う幅広い市民との共同を広げ、広島県内第2の都市に、革新・民主の自治体を確立しましょう。

### 公約1 暮らし、福祉、中小企業振興を市政の中心にすえます

#### <だれもが安心できる医療、介護を>

三好市政のもとで、本来、市民のくらしを守るべき福祉の分野で、「負担の公平」「受益者負担」の名のもとに、たえがたい市民負担がおしつけられ、命と健康をおびやかす事態が進行しています。

#### 高すぎる国保税—冷酷な保険証とりあげ

福山市の国保税は、一世帯あたり15万9363円（平成14年度）と、県内13市のなかで1番目の高さです。深刻な不況で国保税を払いたくても払えない世帯が激増しています。三好市政は、滞納世帯からの保険証取り上げを強行し、資格証明証の発行は2004年4月1日現在、3,091世帯、短期保険証の発行は3,484世帯にのぼっています。収納率向上最優先の国保行政を行い、病気になっても滞納分を支払わなければ（分納誓約を3ヶ月は履行しなければ）国保証を発行しないという冷たい市政です。こうしたなかで、お医者にかかれず病気が悪化し救急車で運ばれたり、サラ金に借金して医者代を払ったり、悲惨な事態があとをたちません。高い国保税を押し付け、払えない人から保険証をとりあげながら、一方では、24億円余の国保基金

をため込んでいます。

### **介護保険料の大幅値上げ、特養ホーム待機者は1千人、春日寮の民間委託**

福山市は、65歳以上のお年よりの保険料（基準額）を38,200円から41,500円に引き上げました。訪問介護の利用料も2倍に引き上げます。特養ホームに入りたくても入れないお年よりは、1298人（2004年3月末）に及んでいますが、今後の増床は90床しか具体化されていません。（計画では218床）

さらに、知的障害者の授産施設・春日寮の民間委託を進め、障害者福祉の公的責任をいっそう後退させようとしています。

### **老人福祉削り—老人医療助成制度の廃止、敬老年金、“おでかけ乗車券”の支給削減**

三好市政は、この間つぎつぎとお年よりの福祉を削ってきました。70歳以上のお年寄りに毎年支給していた1万2千円の敬老年金は、対象年齢を77歳、88歳、99歳、100歳以上に限定され、支給額も半額の6千円に引き下げられてしまいました。70歳以上のお年よりを対象にした“おでかけ乗車券”の支給も75歳以上に引き上げられました。さらに、今後5年間かけて老人医療助成制度を廃止することを決定しました。“削る”ところがまちがっています。

### **福祉削り、市民への負担増をやめ、だれもが安心できる医療や介護の充実を**

- ◆ 高すぎる国保税を引き下げます。24億円余の基金の一部を取り崩すとともに、一般会計からの繰り入れにより引き下げの財源を確保します。市民の命綱とも言える国保証の取り上げをやめます。
- ◆ 介護保険料・利用料の値上げをおさえ、負担を軽くします。特養ホームを増設し、待機者の解消をはかります。
- ◆ 障害者が支援費制度を安心して利用できるよう、ケアマネジメントの体制を確立し、障害者の生活実態にもとづく適確な認定ができる職員体制、審査体制を確立します。福祉サービスの基盤整備、充実をすすめます。利用料減免の施策をすすめます。

## **<子育て安心の福山市をつくります>**

### **高い保育料、定員超過の詰め込み保育、乳幼児医療費無料制度に一部負担金を導入**

福山市の保育料は、他の自治体と比較してもたいへん高いものになっています。全国の県庁所在地・政令市・中核市59市で比較すると、国の徴収基準額にたいする実際の保育料の割合は7番目に高く、3歳未満児の最高月額額は5番目、4歳以上の最高月額額は5番目の高さです。

若いお父さんお母さんの強い願であった就学前までの医療費無料制度は、入院は3年生まで、通院は修学前までの拡充するとしながら、一部負担金を導入し、制度の後退も引き起こしています。

### **父母負担の軽減、安心して子どもをあずけられる体制づくりを**

- ◆ 保育料の引き下げをすすめます。第3子の保育料を無料にし、少子化時代の子育て支援を強化します。定員超過による詰め込み保育をやめ、職員配置や施設設備の最低基準を改善します。認可保育所の新設、増設をおこないます。
- ◆ 乳幼児医療費無料制度の一部負担金や、所得制限を取りやめ、完全無料とします。
- ◆ 児童館を小学校区単位に計画的に建設します。
- ◆ 放課後児童クラブを、まだ未開設の4校でも早期に開設します。利用料の引き下げと、減免制度の拡充をすすめます。

## **<中小企業への支援をつよめ、雇用を守ります>**

### **大型店の出店・後始末に多額の税金投入—商店街は大打撃**

あいつぐ大型店出店で、市内の商店・商店街は存亡の危機とも言える大打撃をこうむっています。

（福山市が取りまとめた2002年の商業統計調査によると、市内の商店数は9・0%、従業員数は5・7%、売上高は16・0%減少。〔1999年比〕）

三好市政は、大型店出店を積極的に後押しし、条件整備に多額の税金を投入してきました。日本化薬跡地への大型店出店のため、土地区画整理事業に24億円を投入し、リーデンローズとの間には12億円もの超豪華な陸橋を建設しました。さらには、倒産した「そごう」の跡を25億円で買い取り、6億円もかけて修繕したあと、大手デパートに貸し付けました。商店街などからは、「大型店の後始末になぜ税金を使うのか」「これ以上大型店ができれば商店街はダメになってしまう」と、厳しい批判の声があがっています。

**福山市経済の主役である中小企業の支援を市政の中心に**

地域経済の主役は中小企業です。三好市政のように大企業優遇のやり方では、地域経済をいよいよ衰退させてしまいます。市の中小企業予算を抜本的にふやし、中小企業支援を進めます。

- ◆ 公共事業は生活密着型を主役にし、それによって中小企業の受注をふやします。
- ◆ 「住宅リホーム助成制度」「小規模工事契約希望者登録制度」の創設で、中小勝者の仕事おこしを進めます。
- ◆ 大型店の身勝手な出店を許さないルールをつくります。商店街を地域社会の核として位置づけ、駐車場や文化施設の設置、催し物への助成など、再生への支援を行います。
- ◆ 無担保・無保証人の「小規模企業応援融資」制度の創設や市独自の借り換え融資制度をつくります。「税の完納証明の添付」を融資申込みの要件から削除します。融資制度の返済期間、据置期間を延長し、金利を引き下げます。
- ◆ 機械、金属、繊維など、福山のものづくりへの振興を着実に実行します。伸鉄、げた、琴などの伝統地場産業の振興に力を入れます。
- ◆ 赤潮対策の強化、農林漁業への支援をつよめます。

## 公約 2 大型開発中心の市政から、

### よりよい環境と教育・文化、住みよい街づくり中心の市政に切りかえます

#### <市民が健康、安全、快適に住みつづけられるまちづくりを>

三好市政は県とともに、「福山道路・福山西環状線・福山沼隈道路」や鞆港埋立て架橋計画を、住民の反対を押し切って強行しようとしています。また、駅前再開発の「都市再生緊急整備地域」指定を受け、

「開発会社施行」で、駅前に23階80メートル、40階130メートルのマンション（それぞれ130戸、305戸）と商業・事業床を核とした再開発ビルを建設しようとしています。このような大型開発は、環境悪化をもたらすとともに、市の財政をますます悪化させることになり、ひいてはそのツケは市民に重くのしかかってくることになってしまいます。大型開発中心の市政をあらため、よりよい環境と教育、住みよい街づくりを中心にした市政に切りかえます。

#### **環境破壊、まちこわしの大型道路建設—住民無視で強引に**

大型道路建設は、市街地を分断し、今でも環境基準を満たしていない大気汚染や騒音など、いっそう深刻な環境破壊を引き起こします。立ち退き戸数は800軒にもおよびます。建設費用は、福山道路だけでも1700億円、道路1kmあたり100億円と莫大なものになり、県や市の財政を大きく圧迫します。県、市は、地域住民の反対を押し切り、計画を強引に進めようとしています。

#### **鞆の歴史的遺産と美しい景観を破壊する「埋立て架橋計画」**

鞆港埋立て架橋計画は、歴史的遺産と美しい景観を台無しにするものです。三好市政は、町並み保存事業を凍結するという圧力をかけてまで架橋計画を強行しようとしています。

鞆のまちは、万葉の時代から潮待ちの港として栄え、歴史的に貴重な文化遺産などが多数残されています。鞆港は自然の円形港湾としては世界的にも貴重なもので、江戸時代の港湾施設が現在も残されています。古くからの伝統行事なども地域の人々によって受け継がれています。

三好市政の無謀な計画にたいし、住民だけでなく全国の学者、文化人が計画の撤回をもとめています。

#### **「びんごエコタウン」、RDF、ゴミ特区 — 一大ゴミ処理産業の拠点づくりで環境悪化が心配**

現在、箕沖地域には、清掃工場、リサイクルセンター、廃プラスチック工場、RDF工場、リサイクル発電所、カムテックス産業廃棄物処理工場などが建設され、県内はもとより全国からさまざまなゴミを集め処理しています。福山市は、この流れをさらに促進し、この地域を「一大ゴミ処理産業拠点」にしようと、「構造改革特別区域法」にもとづく「環境特区」に名乗りをあげています。「特区」とは、特定地域の規制緩和をすすめ、大企業に新たな産業拠点を提供しようとするものです。こうしたやり方は、福山市の環境に重大な悪影響を及ぼす懸念があります。ゴミ処理はそれぞれの自治体の責任で処理することが原則です。ゴミの大量処分施設の建設は、ゴミの減量化にも逆行します。

また、2004年4月に「本格稼動」したRDF工場は、稼動直後から故障が起こっています。ごみ処理費用は、年間13億円も増高し、今後のごみの有料化が心配されています。

## 環境・安全、歴史と景観を守り、安心して心豊かに住みつけられるまちを

大型道路建設や鞆港埋立て架橋建設などの大型開発計画は白紙撤回します。いま必要なのは、環境を守り、市民が健康で安全に住みつけられる福山市をつくることです。

- ◆ 福山道路、福山西環状線など6路線計画は白紙撤回します。渋滞解消のため、公共交通の拡充、橋や既存道路の拡幅、左・右折車線の増設、立体交差などの改善をすすめます。
- ◆ 鞆港の埋立て架橋計画は白紙撤回します。鞆の歴史的遺産と景観、伝統的文化を市民の宝として保全し、全国にアピールしていきます。住民参加で鞆の街おこし、住環境整備をすすめます。
- ◆ 「びんごエコタウン」構想は白紙撤回します。ゴミの減量化へ、企業責任を明確にするとともに、きめこまかな分別収集、再資源化、無害化につとめます。
- ◆ 環境基準を超えている **SPM** や、**NO2** の総量規制を行います。測定地点を増やし、発生源を追及し、削減に力をつくします。
- ◆ 生活環境整備予算を増額します。生活道路の補修、歩行者の安全対策をすすめます。
- ◆ 水源保護条例を制定し、環境保全の見地から林業の育成、水質の汚濁、富栄養化防止のための総量規制などをすすめます。芦田川の水質浄化へ関係機関との協議をすすめ、研究検討をおこないます。環境を守るため、監視体制を強化し、発生源対策をすすめます。
- ◆ 駅前再開発は、大型開発ではなく、地権者の権利、営業、くらしが守れる「住民主人公」の計画に改めます。
- ◆ 安価で質の良い公営住宅、単身、老人、障害者向け住宅を増やします。空き室の借り上げなど、を行い、低家賃の若人向け住宅を増やします。

## <学校にゆとりをとりもどし、どの子もわかる楽しい学校に>

受験中心の競争教育、つめこみ教育、ふるいわけ教育が強まり、子どもたちの健やかな成長がおびやかされています。「いじめ」や学級崩壊、校内暴力、不登校など、子どもと教育をめぐる状況は深刻です。先生たちは夜遅くまで各種の報告づくりなどに追われ、教材研究や子どもたちと接する時間がとれないほどの忙しさです。過労で体調を崩す人が増え、定年前退職や病気などで休職する人も増えています。

競争で子どもたちをふるいわけのではなく、すべての子どもが人間として大切にされ、主権者として必要な基礎学力、体力、情緒、市民道徳を身につけることができる教育が求められています。そのために、市がやるべきことは、教育条件をしっかりと整備することです。

- ◆ すべての学年での30人以下学級をすすめます。
- ◆ 学校施設の改善をすすめます。老朽校舎や体育館の改築。過密校・プレハブ教室の解消。グラウンドの拡張。冷暖房施設の設置。図書室の充実。
- ◆ 中学校完全給食の実施。
- ◆ 教育費の父母負担軽減をはかります。
- ◆ 教職員の多忙化を解消します。
- ◆ 「日の丸」「君が代」の強制や、「人権・同和教育」をやめます。

## <市民だれもが参加できる文化、芸術、スポーツ活動の振興を>

- ◆ 文化予算を増やし、市民が気軽に積極的に参加できる文化、芸術、スポーツ活動へ支援を強めます。
- ◆ 子ども、青年のための文化・スポーツ環境を充実させます。学校や地域での子どものための文化公演を奨励し助成措置を拡充します。スケートボードやローラースケートのできるロード公園、バンド演奏などのできる施設など青少年のための施設を整備します。
- ◆ 文化遺産の保護、伝統技術・技能の継承をすすめます。
- ◆ ギャンブルの拡大を許さず、16億円赤字が累積している福山市営競馬事業は、廃止に向けて関係者との協議を進めます。
- ◆ 中央公園整備は、市民とともに計画を策定し、図書館の新設や中ホールの建設などの要望を生かします。

## 公約3 暴力団や「解同」の介入を断ち切り、

## 市民参加の開かれた清潔な市政へと刷新します

### 公共事業に暴力団が介入

市の公共事業受注企業である（株）日大の幹部が、公共事業にからむ恐喝容疑で逮捕起訴されるとともに、福山市建設協会の幹部も競争入札妨害罪で逮捕されました。起訴された日大幹部にたいする検察の起訴状では、日大が指定暴力団三代目浅野組内中岡組の関係企業であると認定し、暴力団の圧力を背景にあいさつ料、下請け参入の強要などを行っていたと指摘しています。

暴力団が公共事業に介入してきた原因に、福山市の建設業界ぐるみの談合体質があります。日大の幹部が不正な資金集めの目的で設立した「地場産業育成交流会」なる団体の役員に、福山市の幹部OBが天下りしていた事実も明らかになっています。

### 「解同」いいなりの「人権・同和」行政

「特別」法が失効し、国や県が同和行政を終結したもとでも、三好市政は、「差別が存在する限り同和行政を続ける」との立場を変えず、今年度も人権・同和行政に6億7000万円の予算を組んでいます。部落解放同盟とのゆ着のもと、「解同」福山市協に950万円の補助金を出し、解放会館を名称変更した人権交流センター内に、「解同」の事務所を置かせています。市民にたいしては、「住民学習」などで「人権・同和の啓発」を押し付けています。

「地域進出」は廃止されましたが、学力向上地域支援事業や地域教育活動推進事業など、いまだに同和地区児童・生徒の特別扱いが行われています。

### ＜市政への不当な介入を許さず、市民の声が生きる市政を＞

暴力団や「解同」の介入を断ち切り、市民に開かれた清潔な市政へと刷新します。国、県いいなりで住民の意思を無視した行政運営をあらため、市民の声、知恵と力を市政に積極的に生かします。

- ◆ まちづくり条令を制定し、計画策定から実施までのあらゆる段階で、住民参加をつらぬきます。
- ◆ 暴力団の介入を許さず、談合をやめさせ、公正・透明な入札制度を確立します。
- ◆ 「人権・同和」対策事業を終結します。「解同」への団体補助金を廃止します。
- ◆ 官官接待はいっさい禁止します。各種食糧費、市長交際費、議長交際費、東京事務所費の見直しを行い、必要最低限のものに縮小し、使途を公開します。
- ◆ 市長退職金は廃止します。
- ◆ 市長が出向き、市民の声を直接聞く「市民要求懇談会」を地域で網の目に開催します。
- ◆ 男女が対等な立場であらゆる活動に参画する男女平等参画社会の実現をめざします。
- ◆ 市町村合併は、住民自身が決めることを原則にします。福山市に編入合併された新市町、内海町では、住民の不安や要望に十分こたえた住民参加のまちづくりをすすめます。
- ◆ 十分な情報公開を進めます。

公約4 非核平和宣言都市・福山から、核兵器の廃絶、自衛隊の海外派兵反対・憲法9条の

遵守を発信します。

- ◆ 被爆の実相を、広く継承する企画を進めます。
- ◆ 憲法9条を守る集会を開きます。